

令和6年度 リカレント教育講座

オンラインで開催
(ZOOMを使用)

※オンデマンド配信は行いません

食の栄養機能と代謝調節

健康志向の高まりから食品成分の生体調節機能が注目されています。本講座では、大学の研究者がそれぞれの専門分野の最新情報も踏まえ、食機能の実際を解説します。

対象

一般の方 (例: 教育関連施設 (栄養教諭、管理栄養士)、介護・医療関連施設 (看護師、介護士)、食品関連企業、健康関連会社、飲食店などで働く方)

日程

2024年 9月3日(火) ~ 12日(木) 各講座2回ずつ
19:00 開始 (講義90分 + 質疑応答等)



講座① エイジングとアンチエイジング

9/3 (火) 第1回「食健康と細胞老化」

小田 司 (群馬大学生体調節研究所・助教)

9/10 (火) 第2回「生体のエネルギー代謝とアンチエイジング」

高稲 正勝 (群馬大学未来先端研究機構・助教)

講座② 糖と脂肪の代謝

9/4 (水) 第1回「栄養と食欲」

河野 大輔 (群馬大学生体調節研究所・助教)

9/11 (水) 第2回「脂肪酸の組成と健康」

松井 弘樹 (群馬大学大学院保健学系研究科・准教授)

講座③ 食事と腸内細菌

9/5 (木) 第1回「腸内細菌の基礎」

杉山 友太 (群馬大学食健康科学教育研究センター・助教)

9/12 (木) 第2回「腸内細菌を介したタンパク質食摂取の功罪」

清水 英寿 (島根大学生物資源科学部・教授)

参加費 : 1講座 2,000円 全講座 6,000円

申込期間 : 7/16(火)~8/26(月)

お申し込みはこちら ⇒
申込URL :

<https://forms.gle/Zm4it1eHgAihdxht8>



【お問合せ】

〒371-8510

群馬県前橋市荒牧町4-2

国立大学法人群馬大学

研究推進部産学連携推進課荒牧センター事務局

☎ : 027-220-7449

✉ : shokukenkou-c@ml.gunma-u.ac.jp

GUCFW



講座① エイジングとアンチエイジング 2024年9月3日(火), 9月10日(火)

- ・第1回 「食健康と細胞老化」 9/3 (火) 19:00～
講師 小田 司 (群馬大学生体調節研究所・助教)
(概要) さまざまなストレスによって体内に老化細胞が生じます。これらの老化細胞を取り除いたマウスでは、健康寿命が延びることが明らかとなり、世界中で老化細胞を殺傷する化合物の開発が進められています。本講義では、加齢疾患における老化細胞の作用と、食事が老化細胞の発生を抑制する可能性について話を進めたいと思います。
- ・第2回 「生体のエネルギー代謝とアンチエイジング」 9/10 (火) 19:00～
講師 高稲 正勝 (群馬大学未来先端研究機構・助教)
(概要) 老化の根本的な原因の一つは、加齢に伴う生体内のエネルギー代謝やミトコンドリア機能の低下です。本講義の前半では、まずエネルギー代謝の基礎について概説します。講義後半では、近年注目されているNMNをはじめとする抗老化サプリメントがエネルギー代謝をどのように改善させるかを解説し、皆様の理解を深めます。

講座② 糖と脂肪の代謝 2024年9月4日(水), 9月11日(水)

- ・第1回 「栄養と食欲」 9/4 (水) 19:00～
講師 河野 大輔 (群馬大学生体調節研究所・助教)
(概要) 脳の中には『食欲中枢』と呼ばれる領域があり、食欲や代謝を調節することにより、体内の栄養状態を一定に保つ働きをしています。また、食欲中枢が正常に機能しなくなることが肥満発症の一因であることが知られています。本講義では、食欲中枢に焦点を当てて、食と体重調節について概説いたします。
- ・第2回 「脂肪酸の組成と健康」 9/11 (水) 19:00～
講師 松井 弘樹 (群馬大学大学院保健学研究科・准教授)
(概要) 脂質の基本成分である脂肪酸は、生体のエネルギー源や細胞膜の構成成分などに利用されますが、こうした脂肪酸の組成が、生体に様々な影響を与えることが知られています。本講義では、食習慣と脂肪酸バランスが健康や病気に与える影響について解説します。

講座③ 食事と腸内細菌 2024年9月5日(木), 9月12日(木)

- ・第1回 「腸内細菌の基礎」 9/5 (木) 19:00～
講師 杉山 友太 (群馬大学食健康科学教育研究センター・助教)
(概要) 腸内細菌叢が宿主の様々な健康状態に影響することが次々と明らかになり、様々なメディアで取り上げられています。しかし、腸内細菌に関する基礎知識(分類や研究手法など)については十分紹介されていません。本講義では、腸内細菌(叢)をより正確に知るための基礎的な事柄についてお話しします。
- ・第2回 「腸内細菌を介したタンパク質食摂取の功罪」 9/12 (木) 19:00～
講師 清水 英寿 (島根大学生物資源科学部・教授)
(概要) 摂取タンパク質の増加は、健康の維持や促進に重要だとされる一方、疾患の発症・進展にも寄与するという、相反する効果が疫学的な調査から実証されています。本講義では、このような違いが生じるメカニズムについて、腸内細菌が作り出す化合物に焦点を当て、これまでに当研究室で得られた成果を含めご紹介いたします。



【お問合せ】 〒371-8510 群馬県前橋市荒牧町4-2
国立大学法人群馬大学
研究推進部産学連携推進課 荒牧センター事務室
☎ : 027-220-7449 ✉ : shokukenkou-c@ml.gunma-u.ac.jp